

事業報告

【センター企画講座】

アサーティブネス・トレーニング講座 7月22日、23日、8月5日、6日

講師：ウィメンズカウンセリング富山

生涯の心身の健康に向けた支援の取り組みとして「アサーティブネス・トレーニング講座」を開催しました。アサーティブネスとは、言いたいことを我慢せず、相手も大切にしながら自分の気持ちありのままに相手に伝える自己表現の事です。

講座では、自分の伝え方のクセを知り、考えや気持ちを「私」を主語にした「Iメッセージ」で伝える手法を学びました。楽しみながら語り合い、グループワークやロールプレイを通じて、丁寧に自分と向き合い自分の気持ちを素直に表現することを学びました。

Iメッセージのポイント

- 私を主語にする
- 結論を先に言う
- 短く気持ちを伝える
- その場で言う
- 言い訳をしない

受講者の感想

「自分自身について深く考えることができ、他の人の考え方も勉強になった」
「参加型のワークショップだったので時間がすぐ経ち楽しかった」
「つらい、いやだ、と言う思いを相手に伝えてもいい権利があることを知った」

【粋メンプロジェクト事業】

「父子（祖父孫）でチャレンジ！輪ゴムプルバックカー」 8月5日

男性も子育てに積極的に取り組んでもらうことを目的として、夏休みに父子（祖父と孫）で参加する工作教室「ペットボトルを使った輪ゴムプルバックカー」を開催しました。

子どもたちは、お父さんたちからハサミやカッターの使い方を教わりながら、ペットボトルからタイヤのパーツなどを作ったり、ビニールテープやシールで飾り付けするなど、自分たちだけのオリジナルカー作りに夢中で取り組んでいました。

難しい工程では、苦戦する子どもたちをお父さんたちがサポートしながら、仲良く作業する姿も見られました。

参加者からは「普段こういう機会がなかなか持てないので楽しかった」「孫が興味を持ったのでふれあいが充分できた」といった感想が寄せられ、夏休みの良い思い出づくりにもなったのではないのでしょうか。



高岡市では、男女平等・共同参画に積極的な男性は、「粋」で「カッコいい」ものであり、好ましいモデルとして育成していく必要があるとの考えに基づき、子育て世代からプラチナ世代（中高年以上）までの幅広い男性を対象に、家事・育児・介護・仕事と生活の調和などをテーマとした講座等を実施しています。



Eフェスタ2017

9月3日(日)～9月10日(日)

おせっかいぎ in 高岡 地域から未来を考える

— 高岡市男女平等推進プラン（第2次）を活かすには —

主催：E ネット（高岡市男女平等推進センター登録活動団体ネットワーク） 共催：高岡市

メインイベント

『センターの役割と可能性を考える』

【基調講演】 講師：瀬山 紀子さん（埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネーター）

男女が一緒になって活躍できる社会を目指して「高岡市男女平等推進プラン（第2次）」がスタートしました。センターとして何をすべきか、そこに集う市民は何をすべきかを瀬山さんの講演で学びました。

「センターの役割や設置目的を運営側と利用者が共有しながら、その可能性を広げていくこと」が重要であることから、センターは、社会の様々な領域において「男女平等・共同参画の視点から見る・考える」機会を提供し、「人と人・団体、情報をつなぐコーディネート機能」を持つ拠点であることを会場の皆さんと一緒に共通認識として持つことができました。

【パネルディスカッション】

＜コーディネーター＞ 瀬山 紀子さん

＜パネリスト＞

- 村田 芳朗さん（高岡市副市長）
- 大坪 久美子さん（NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち）
- 越野 誠子さん（NPO法人 ハッピーウーマンプロジェクト）
- 柳 美喜子さん（NPO法人 親と教員の会こどものその）



パネリストは、これまでの活動やその中から見えてくる成果や課題などについて発表し、それぞれの団体の活動について理解を深めました。また、今回は高校生の参加・発言などもあり、性別や年齢などにかかわらず、全参加者と共に考える有意義な機会となりました。

ワークショップ・展示



【参加団体】

アプローチ、カーテンコール、憲法9条ファンクラブ@高岡、新日本婦人の会 高岡支部、高岡くらしの会、高岡市商業雇用課・男女平等推進センター、NPO法人 Nプロジェクトひと・みち・まち、みらい高岡、レインボーハート富山

【ワークショップのみ】

シャキット富山35、高岡地区広域圏のごみ問題を考える会、地域女性ネット高岡、トークサロン・エンジェルの会、ふあん・ふあしい・Café、ペアテさんの会、まちの福祉しらべ隊

【高岡市企画講座】

働く女性のキャリア・デザインセミナー ～社員も企業もHAPPYになるために～

講師：蓑輪 紀子さん（キャリアオフィスみのわ代表）

女性活躍推進法の成立に伴い、国から民間レベルまで様々な取り組みがなされていますが、妊娠を期に6割の女性が退職していることや、夫の家事・育児関連時間が1日あたり67分となっているなど、まだまだ厳しい現状です。そこで、自分が考える社会や職場、社員、キャリアなどについてワークシートを使い、考えたことをグループで話し合いました。そして、まずは現状と向き合い、何が問題であるかを「自ら気づく」ことが大切であり、会社が考える活躍する女性社員と自分自身が目指す姿を明確にすることが大切であることを学びました。

